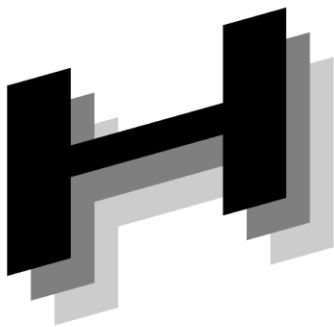




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

J A H I S

IHE-ITI を用いた

医療情報連携基盤実装ガイド

レセコンポータル向け

臨床検査データ編

Ver. 1.0

2015年12月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

戦略企画部 事業企画推進室

JAHIS IHE-ITI を用いた医療情報連携基盤 実装ガイド レセコンポータル向け臨床検査データ編

Ver. 1.0

まえがき

近年、国内では地域医療連携ネットワークの構築が進められ、150 以上ものネットワークが稼働している。しかしながら、大部分のネットワークでは、地域医療連携に必要な医療情報を電子カルテシステムから出力することを前提とした構成となっている。そのため、電子カルテシステムを導入していない小規模診療施設では、中核病院等の診療情報を参照することが主となっており、医療機関間で相互に診療情報が交換／共有されているケースは少ない。

我が国においては、診療所などの小規模医療施設が多数を占めており、効果的な地域医療連携を実現するには、電子カルテが導入されていない小規模医療施設を含めて、広く多く多くの医療機関が参加できることが望ましい。また、現状の医療連携の状況を踏まえるとそうした小規模医療施設にある情報にこそ中核病院から参照したいという需要がある。

このような背景を元に、平成 25 年度厚生労働省「小規模医療機関にかかるインターフェース企画策定及び検証に関する請負業務」において、小規模医療機関に広く普及しているレセプトコンピュータ等の持つ医療情報を地域医療連携において活用するための検討を行い、JAHIS 技術文書「JAHIS IHE-ITI を用いた医療情報連携基盤実装ガイド レセコン編 Ver. 1.0」を取りまとめた。ここでは、診療所のレセプトコンピュータの持つ処方情報や、薬局で実際に調剤した結果である調剤情報等を、オンラインレセプトの仕組みを活用して地域医療連携に活用できるようにしている。

地域医療連携では、処方・調剤情報だけではなく臨床検査結果も有用な情報であるが、臨床検査結果を診療所等のレセプトコンピュータで管理されているケースは少ない。しかしながら、ほとんどの小規模医療施設は、臨床検査を外部の臨床検査センターに委託しており、臨床検査センターでは検査結果データが電子化されている。そこで、臨床検査センターも含めた枠組みの中で、地域医療連携ネットワークに検査結果データを提供するための臨床検査データファイル仕様、及び、それらを標準規格に変換するための技術文書として本書をとりまとめた。

2015年12月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
戦略企画部 事業企画推進室

<< 告知事項 >>

本技術文書は関連団体の所属の有無に関わらず、技術文書の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本技術文書に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本技術文書ならびに本技術文書に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本技術文書作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本技術文書についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

目 次

1. はじめに.....	1
1.1. 策定方針.....	1
1.2. 適用範囲.....	2
1.3. 各章の概要.....	2
1.4. 用語・略語の定義.....	3
2. 地域医療連携用 検査結果 CSV ファイル仕様.....	5
2.1. 記録形式.....	5
2.2. ファイル構成.....	5
2.3. ファイルレイアウト.....	7
2.4. コード仕様.....	10
3. 連携用データの受信・変換・格納.....	11
3.1. 受信処理.....	11
3.2. 変換処理.....	11
3.2.1. 連携用データ（検査結果）の変換.....	12
3.3. 格納処理.....	31
3.3.1. レセリポジトリの構造.....	31
3.3.2. ファイル命名規則.....	32
3.3.3. 格納処理における留意点.....	32
3.3.4. トランザクションストレージ記録仕様.....	32
4. 参考文献.....	33
付録—1. コード表.....	34
付録—2. サンプル.....	47
付録—3. 作成者名簿.....	51

1. はじめに

1.1. 策定方針

診療所等の小規模医療施設においては外注の検査依頼を行う場合が多く、電子カルテなど検査結果を電子的に取り込んで表示できるシステムを導入していない施設においては、検査結果を紙ベースで受け取る運用のため、施設内に検査結果の電子データが蓄積されていない場合が多い。また、小規模医療施設が検査結果を電子データとして蓄積できている場合でも、コスト等の問題で地域医療連携に提供・活用するためのソフトウェア、ネットワーク機器等の整備がされていないケースが多い。小規模医療施設にない検査結果データは検査機関内に保持されているとすれば、検査機関内の検査結果データをいかにして地域医療連携ネットワークに提供できるか、また、小規模医療施設に蓄積される検査結果データをいかにして地域医療連携ネットワークに提供できるかが課題である。

検査機関によって取り扱う検査結果の仕様は異なり、また連携する電子カルテベンダーによって仕様異なる場合があるため、1つの検査機関が複数の仕様に対応しているケースもある。フォーマットはCSV形式、HL7形式、固定長テキスト形式など機関ごとにさまざまであり、検査項目の名称、使用するコード、順番、バイト数、必須項目などが検査機関ごとに異なる。このような状況下では、地域で小規模医療施設の検査結果データを共有することは難しく、標準的なインターフェース仕様の策定がまず必要であり、臨床検査センター・小規模医療施設から地域医療連携ネットワークに検査結果データを提供するためのファイルの仕様・規格の策定を行う。

本実装ガイドでは小規模医療施設のデータを、レセコン編で規定したレセリポジトリにアップロードすることを前提として仕様を策定している。レセリポジトリはSS-MIX2標準化ストレージに類似した構造であり、ファイルはHL7 v2.5に準じた形式である。従って、レセコン編と同様に、リポジトリへのデータ提供の際には最終的にHL7形式になっていることが必要である。

下記にガイド策定の方針を示す。

- 1) 地域医療連携ネットワークに検査結果を提供する際に必要な情報項目の洗い出しを行う。
- 2) 出力しやすい簡便な様式のファイル仕様としてCSV形式の検査結果ファイル仕様書としてまとめる。
- 3) CSV形式からHL7形式へのマッピング、レセリポジトリへの格納ルールについての規格を策定する。
- 4) 検査機関・医療機関間で従来から行われている検査結果の電子データのやりとりを本実装ガイドの仕様・規格で置き換える前提ではなく、従来の方式での運用は残したまま、地域医療連携ネットワークでの検査結果を共有するための仕様・規格として提示する。
- 5) 検体検査結果を対象とする。
- 6) 細菌検査結果は本書の対象外とする。
- 7) 検査依頼時に提出される情報のうち、検査実施や検査結果の評価に有用な情報は検査結果ファイルにも含めることとする。
- 8) 検査結果データを施設間や地域医療連携ネットワークの情報基盤システム（以下、医療情報連携基盤システム）との間で交換する際のネットワーク構成については本書の対象外とする。
- 9) 本実装ガイドでは仕様・規格の提示までとし、変換プログラムの仕様や、変換を行う場所の規定については本実装ガイドの対象外とする。
- 10) 医療情報連携基盤システムは、実装ガイドレセコン編で示した、レセコンポータルとレセリポジトリが実現されていることを前提とする。

上記方針に沿い、検査結果データに関する現状分析、課題抽出、適用範囲の整理を行った上で、検査結果データを地域医療連携ネットワークに提供するための検査結果 CSV ファイル仕様、HL7 変換・レセリポジト

リへの格納ルールを定めた技術文書の策定を行った。

1.2. 適用範囲

地域医療連携ネットワークに検査結果データを提供するための検査結果 CSV ファイル仕様、およびレセリポジトリへの格納ルールを定めた規格の適用範囲を図 1 に示す。医療情報連携基盤システムとは、実装ガイドレセコン編に記載されるレセコンポータルとレセリポジトリが使用されていることを前提とする。ただし、検査結果の提供パターンが複数考えられるため、実際の運用方法やメリット・デメリットを考慮の上、検査結果 CSV ファイル仕様・規格の適用場所をそれぞれの地域や施設で検討の上、決めていくことが望まれる。

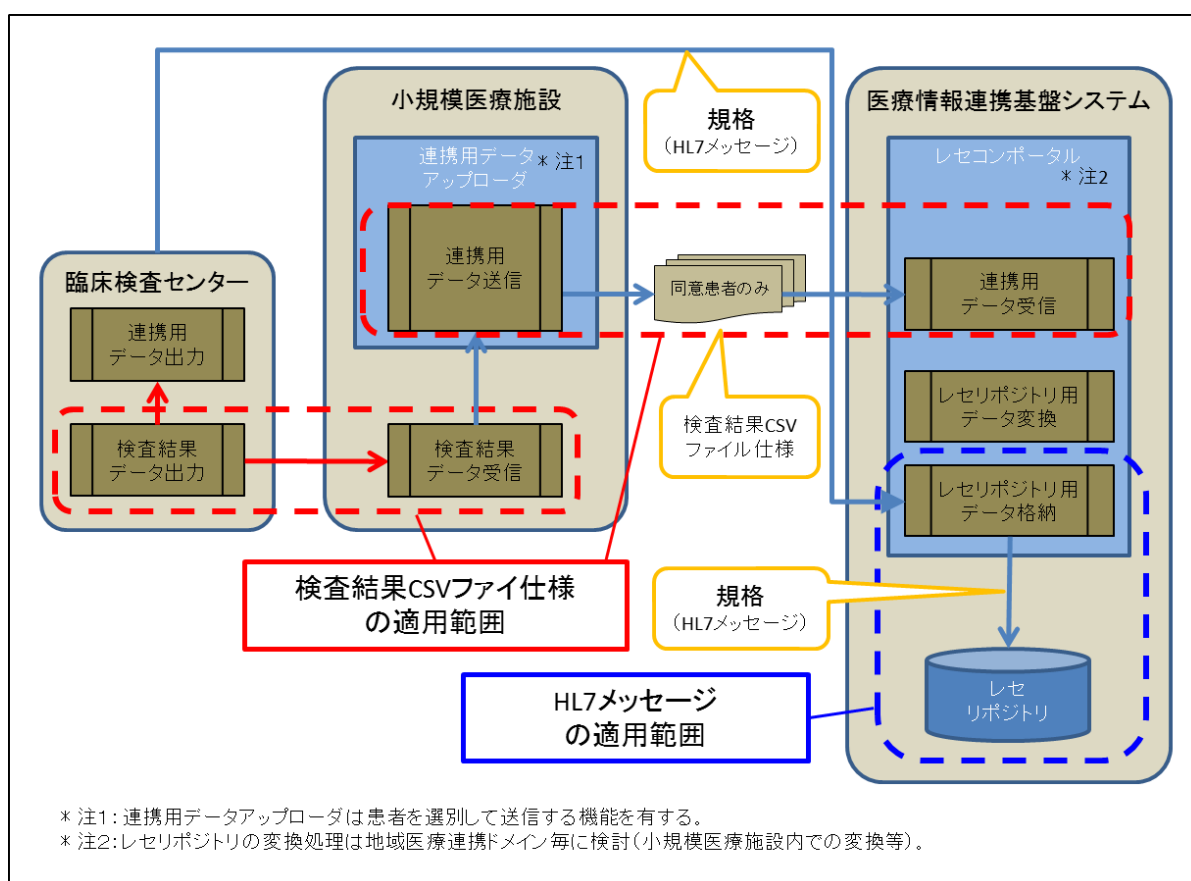


図 1-1 本書の適用範囲

1.3. 各章の概要

本書の 2 章以降の各章の内容を示す。詳細に関しては適宜各章の該当部分を参照のこと。

2 章「地域医療連携用 検査結果 CSV ファイル仕様」

医療情報連携基盤システムに検査結果データを提供するための検査結果 CSV ファイル仕様について記載した。

3 章「連携用データの受信・変換・格納」

連携用データを、医療情報連携基盤システムで受信し、IHE ITI で扱うことのできるデータへ変換するた

めの処理を記載した。

4章「参考文献」

本書を読む上で参考となる参考文献を記載した。

1.4. 用語・略語の定義

本書を読む上で必要となる用語、略語を定義する。

- ・ IHE

Integrating the Healthcare Enterprise の略。医療連携のための情報統合化プロジェクトであり、医療情報の標準化へ向け、業務フローに従った DICOM、HL7 といった標準規格の適用ガイドラインを作成し、システムベンダのシステムへの実装、接続テストを実施する体制を構築している。

- ・ ITI

IT Infrastructure の略。医療情報共有を促進するため、情報統合実現を目的に設置された標準の実装方法についてとりまとめた IHE のテクニカルフレームワークの 1 つ。

- ・ SS-MIX (Standardized Structured Medical record Information eXchange)

診療情報の交換・共有のために、HIS や電子カルテシステム等で管理されている各種情報を標準化された形式で格納する「SS-MIX 標準化ストレージ」を用いて外部アプリケーションから参照するための、データの電文（メッセージ）仕様と格納ルールを定めたもの。2012 年には JAHIS 標準規格への整合性を図ること、及び、対象メッセージの拡大を目的として、SS-MIX2 が策定された。

- ・ 医療施設

本書では、電子カルテシステム／オーダエントリシステムから地域医療連携用データを出力する医療機関を示す。

- ・ コンディションフラグ

SS-MIX/SS-MIX2 のファイル名を構成する要素の 1 つ。ファイルが有効か無効かを識別する。1:有効、0:無効（削除）、2:過去履歴の 3 種類の値を取る。2:過去履歴は、SS-MIX2 で新たに追加された値であり、最新の結果の発生で置き換えられたある時点で有効な結果を意味する。

- ・ 小規模医療施設

本書では、電子カルテシステムを導入しておらず、地域医療連携用データをレセプトコンピュータ等から出力する医療機関や薬局を示す。

- ・ セグメント

HL7 V2 において、患者識別や検査結果など、関連する一連の情報項目の論理グループ。PID、OBX など、3 文字の英数字で表現されるセグメント ID で識別される。

- ・ トランザクションストレージ

SS-MIX 受信アプリケーションが有する、受信したメッセージそのものをログファイルとして蓄積する機能。SS-MIX における受信ログ。

- ・ レセリポジトリ

小規模医療施設から、地域医療連携ネットワークに連携用データを共有するために使用する、SS-MIX に類似した構造を持つデータ形式、及び、データ格納ルール。あるいは、これらのデータによって作成されたストレージそのものを指す。

- レセコンアップローダ

小規模医療施設からレセコンポータルへ連携用データを送信するためのソフトウェア。

- レセコンポータル

地域医療連携センターに設置され、地域医療連携に参加する小規模医療施設から送信される連携用データを受信し、レセリポジトリへ変換する機能を備えるアプリケーション。

- 連携用データ

地域医療連携用診療情報データのこと。具体的には、地域医療連携用診療情報記録条件仕様にに基づき記録されたデータファイルを示す。

2. 地域医療連携用 検査結果 CSV ファイル仕様

本章では、地域医療連携に検査結果データを提供するための検査結果 CSV ファイル仕様を示す。

2.1. 記録形式

CSV 形式とする。

2.2. ファイル構成

下記に検査結果 CSV ファイルの共通仕様を示す。

表 2-1 共通仕様

No	項目	仕様
1	文字コード	JISX0201-1976 の 8 単位符号、及び、JISX0208-1983 の附属書 1 にて規定されているシフト符号化表現 (Shift_JIS)
2	改行コード	CRLF
3	最終行の改行	最終行の改行コードは必須としない。
4	セパレータ	カンマ (,)
5	ダブルクォーテーション	項目は全てダブルクォーテーションで囲む。ダブルクォーテーションはダブルクォーテーションでエスケープする。
6	ヘッダ行	1 行目に、検査結果 CSV ファイル仕様のバージョン、列数、改訂日を記録する。2 行目にヘッダ行を記録する。ヘッダ行は各フィールドの項目名をダブルクォーテーションで囲み、カンマで区切る。
7	列の省略	列の省略は不可とし、3 行目以降のデータ行は各行でカンマ数は同じとする。
8	ファイル名	拡張子を「csv」とし、ファイル名を 検査機関コード_医療機関コード_作成日時 (YYYYMMDDHHMMSS) .csv とする。 詳細は、(1)ファイル命名規則参照
9	レコードの構成	医療機関情報、患者基本情報等の共通部分を各レコードに繰り返し記録する方式とする。
10	文字種別 (タイプ)	半角、全角、混合として、混合の場合は半角・全角のどちらが入ってもよいとする。

(1) ファイル命名規則

ファイルを一意にするための命名規則を下記に示す。

拡張子を「csv」とし、下記の通り検査結果 CSV ファイルを特定できる意味を持った項目を「_ (アンダースコア)」で結合したファイル名を設定する。

表 2-2 ファイル命名規則

ファイル命名規則
検査機関コード_医療機関コード_作成日時 (YYYYMMDDHHMMSS) .csv

(2) ファイル命名に必要な項目と内容

ファイル名に必要な項目と内容を下記に示す。

表 2-3 ファイル命名に必要な項目と内容

No	項目	内容
1	検査機関コード	検査機関を特定するための識別番号とする。 現状では、検査機関ごとに定められている利用可能なコードがないため、「JAHIS 基本データセット適用ガイドライン Ver. 2.1」の医療機関 ID の付番ルールに従い、[9]+電話番号の下9桁を設定する。 検査機関が医療機関である場合は、10桁の医療機関コードを設定する。
2	医療機関コード	依頼元の医療機関を特定するための識別番号とする。 医療機関ごとに定められている10桁のコードを設定する。 「厚生労働省 標準的な健診・保健指導プログラム（確定版）」、及び、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」に規定された「健診機関・保健指導機関コード」から設定する。
3	作成日時	CSV ファイルが作成された日時を設定する。 YYYYMMDDHHMMSS 形式とする。

(3) CSV データの構成

本書で定義される CSV データは、検査結果1項目につき45カラムを1レコードとする。図 2-1 に CSV データの構成を示す。患者情報や施設情報は、冗長な構成となるが、全ての行に繰り返し記録される。1回の検査結果報告単位のレコードには、同一の検査結果通番が記録される。下図では太線で示すデータが1回の範囲となる。

検査機関識別コード	...	検査結果通番	患者 ID (カルテ番号)	...	検査項目名称	...
9312345678	...	1	1111	...	項目A	...
9312345678	...	1	1111	...	項目B	...
9312345678	...	1	1111	...	項目C	...
9312345678	...	1	1111	...	項目D	...
9312345678	...	1	1111	...	項目E	...
9312345678	...	2	2222	...	項目C	...
9312345678	...	2	2222	...	項目F	...
9312345678	...	2	2222	...	項目G	...
9312345678	...	3	3333	...	項目A	...
9312345678	...	3	3333	...	項目D	...
9312345678	...	4	4444	...	項目H	...

図 2-1 CSV データの構成

2.3. ファイルレイアウト

検査結果 CSV ファイル仕様で指定するオプション指定、及び、タイプ指定を下記に示す。

表 2-4 オプション設定

OPT	オプションの内容
R	必須。
RE	存在すれば必須。送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する。
0	オプション。
C	トリガイベントおよびその他のフィールド条件により設定要否が決まる。

表 2-5 タイプ指定

タイプ	タイプの内容
半角	半角文字のみを許容する。
全角	全角文字のみを許容する
混合	全角、または、半角の両方を許容する。

検査結果 CSV ファイル仕様を下記に示す。

表 2-6 検査結果 CSV ファイル仕様

No	分類	項目名	タイプ	OPT	最大 Byte 長	説明	備考
1	検査機関情報	検査機関識別コード	半角	R	10	検査機関を識別するコードを設定する。	コードの付番方法は表 2-3 を参照。
2	検査機関情報	検査機関名	混合	0	30	検査機関の名称を設定する。	
3	施設情報	施設コード	半角	R	10	医療機関コードを「厚生労働省 標準的な健診・保健指導プログラム(確定版)」に規定された「健診機関・保健指導機関コード」から設定する。	
4	施設情報	施設名称	混合	0	100	医療機関の名称を設定する。	
5	施設情報	診療科コード	半角	0	3	診療科コードを「利用者定義表 0069- 診療部門 (SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0)」から設定する。	コード表 1
6	施設情報	検査依頼医師氏名	全角	0	50	検査依頼施設の医師氏名を設定する。	
7	通番	検査結果通番	半角	0	9	1 回に報告される検査結果単位での通番を設定する。	

No	分類	項目名	タイプ	OPT	最大 Byte 長	説明	備考
8	患者情報	患者 ID (カルテ番号)	半角	R	20	患者 ID(カルテ番号)を設定する。	
9	患者情報	患者氏名 (漢字氏名)	全角	R	50	患者の漢字氏名を設定する。	姓名間には半角スペースを含むことを推奨する。 例1：患者 太郎 例2：患者太郎
10	患者情報	半角カナ氏名	半角	RE	25	患者の半角カナ氏名を設定する。	姓名間には半角スペースを含むことを推奨する。
11	患者情報	生年月日	半角	RE	8	患者の生年月日を設定する。 YYYYMMDD 形式	
12	患者情報	性別	半角	R	1	患者の性別を性別コードから設定する。	コード表 2
13	患者情報	同意患者識別子	半角	R	1	同意患者を特定するための識別子を同意患者識別コードから設定する。	コード表 3
14	患者情報	身長	半角	RE	8	患者の身長(単位を含まない)を設定する。	単位は cm とする。むまない。小数点も使用可とする。とする。 例1：167 例2：167.2
15	患者情報	体重	半角	RE	8	患者の体重(単位を含まない)を設定する。	単位は kg とする。 例1：56 例2：123.75 例3：3.204
16	患者情報	透析区分コード	半角	RE	1	患者の透析区分を透析区分コードから設定する。	コード表 4
17	患者情報	食事区分コード	半角	RE	1	患者の食事区分を食事区分コードから設定する。	コード表 5
18	患者情報	食事区分テキスト	全角	0	18	患者の食事区分テキストを設定する。	例：食後 120 分など
19	患者情報	妊娠週数	半角	0	2	患者の妊娠週数（最大 2 桁の数値）を設定する。	
20	検査基本情報	検査依頼者オーダ ID	半角	R	15	検査依頼側で採番した検査依頼 ID (オーダ単位)を設定する。	
21	検査基本情報	入外区分	半角	R	1	検査依頼オーダの入外区分を入外区分コードから設定する。	コード表 6

No	分類	項目名	タイプ	OPT	最大 Byte 長	説明	備考
22	検査基本情報	検査依頼日時	半角	RE	14	検査依頼日時を設定する。 YYYYMMDDHHMMSS 形式	
23	検査基本情報	オーダーコメント	混合	0	300	オーダー単位のコメントを設定する。	
24	検体情報	検体採取日時	半角	R	14	検体採取日時を設定する。 YYYYMMDDHHMMSS 形式	
25	検体情報	検体タイプ	半角	R	3	検体タイプを「日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード(材料コード I)」から設定する。	コード表 7
26	検体情報	検体コメント	混合	0	200	検体単位のコメントを設定する。	
27	検体情報	尿量	半角	RE	8	患者の一日尿量(単位を含まない)を設定する。	単位は ml とする。 小数点も使用可とする。 例 : 123.4
28	検査結果情報	検査項目独自コード	半角	RE	20	検査センター独自コード/ 医療機関独自コードを設定する。	
29	検査結果情報	検査項目名称	混合	RE	30	検査センター独自コード/ 医療機関独自コードの検査項目名称を設定する。	
30	検査結果情報	検査項目見出し	全角	R	40	検査項目見出しを「JAHIS 基本データセット適用ガイドライン Ver. 2.1 IOB 定義表 003-検査項目群」 から設定する。	コード表 8
31	検査結果情報	JLAC10 コード	半角	RE	17	JLAC10 コードを設定する。 先頭 5 桁の分析物コードは必須とする。	
32	検査結果情報	レセプト電算コード	半角	0	9	診療行為コードを設定する。	
33	検査結果情報	検査実施日(受付日)	半角	0	14	検査実施日時を設定する。 YYYYMMDDHHMMSS 形式	
34	検査結果情報	検査結果状態	半角	R	1	検査結果状態を「HL7 表 0085-検査結果状態」から 設定する。	コード表 9
35	検査結果情報	検査値	混合	C	50	検査値を設定する。 結果値形態が「B:結果なし」 以外は必須とする。 検査値があれば、結果形態 の値に関わらず設定する。	検査結果は、数値データを推奨するが、不等号などの記号を含めてもよい。

No	分類	項目名	タイプ	OPT	最大 Byte 長	説明	備考
36	検査結果情報	結果値形態	半角	RE	1	結果値形態を結果値形態コードから設定する。	コード表 10
37	検査結果情報	単位	混合	0	20	単位のテキストを設定する。	
38	検査結果情報	基準値区分	半角	0	1	基準値区分を基準値区分コードから設定する。 基準値が数値以外の場合 はセットしない。	コード表 11
39	検査結果情報	基準値 1 (下限)	混合	0	15	下限・上限の基準値 (定性 値を含む) を設定する。	
40	検査結果情報	基準値 2 (上限)	混合	0	15		
41	検査結果情報	異常フラグ	半角	0	2	異常フラグを「HL7 表 0078-異常フラグ」から設 定する。	コード表 12
42	検査結果情報	結果コメント 1 (コー ド)	半角	0	10	検査項目ごとのコメント (コード) を設定する。	
43	検査結果情報	結果コメント 1 (内容)	混合	0	100	検査項目ごとのコメント (文字列) を設定する。	
44	検査結果情報	結果コメント 2 (コー ド)	半角	0	10	検査項目ごとのコメント (コード) を設定する。	
45	検査結果情報	結果コメント 2 (内容)	混合	0	100	検査項目ごとのコメント (文字列) を設定する。	

2.4. コード仕様

検査結果 CSV ファイル仕様で規定しているコード表は、付録-1 コード表に示す。

3. 連携用データの受信・変換・格納

3.1. 受信処理

アップローダによりアップロードされた連携用データは、レセコンポータルで受信する。受信処理の詳細は本書では規定しない。各地域ドメインでエラー処理等を考慮し実装すること。

レセコンポータルでは、受診した患者が連携対象患者であることを確認するために、実装ガイド本編で記載する IHE のトランザクション（患者 ID 相互参照問合せ [ITI-45]）を使用し、対象患者かどうかを確認しなければならない。対象患者でなかった場合も、受信エラーとせず、当該患者のデータの変換・格納処理を省略するのみとする。ただし、データが正常に処理されたか否かを確認できる仕組みを備えることが望ましい。

3.2. 変換処理

SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書のメッセージ定義表の記載に類似した形式で、2 章に示した検査結果 CSV ファイル仕様からレセリポジトリへの変換処理を定義する。表 3-1 に、メッセージ定義表の記載項目の説明を示す。

表 3-1 メッセージ定義表の記載項目

No	項目	説明
1	フィールド名	SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書で指定された HL7 V2.5 フィールドの日本語名称。
2	LEN	1 つのデータフィールドの 1 反復が占めることができる文字の最大数。
3	DT	HL7 V2.5 で定義されたフィールドのデータタイプを示す。詳細については、関連する JAHIS 標準文書を参照のこと。
4	OPT	HL7 V2.5 で定義されたオプション指定。 <ul style="list-style-type: none">・ R：必須・ RE：存在すれば必須。送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する。・ O：オプション・ C：トリガイイベント及びその他のフィールドの条件により設定要否が決まる。・ X：対象のトリガイイベントでは使用されない。・ B：旧バージョンとの互換用。・ -：HL7 V2.5 では未使用（JAHIS で定義された Z セグメントなど）。詳細は、関連する JAHIS 標準文書を参照のこと。
5	RP	そのフィールドが反復可能かどうかを示す。
6	TBL#	コード型のフィールドの場合に、使用するコード表の番号を指定する。HL7 表、使用者定義表、外部表の 3 種類が存在する。
7	本仕様	本書の仕様における制約（オプション指定）を示す。レセリポジトリ実装時の参考情報として、SS-MIX2 仕様と変更したフィールドについては太字で示す。
8	SS-MIX2	レセリポジトリ実装時の参考情報として、SS-MIX2 仕様における制約（オプション指定）を示す。 <ul style="list-style-type: none">・ R：必須。

		<ul style="list-style-type: none"> RE：存在すれば必須。送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する。 O：オプション。ただし、原則として、送信側アプリケーションに該当データがあれば、必ず送信しなければならない。 C：トリガイメント及びその他のフィールド条件により設定要否が決める。 N：通常、使用しない。 詳細は、SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書を参照。
9	説明	フィールドの説明。

3.2.1. 連携用データ（検査結果）の変換

3.2.1.1. 変換処理の概要

表 3-2 に、連携用データ（検査結果）の変換に使用するレセリポジットリメッセージを示す。1つの検査結果 CSV ファイルには、複数患者の検査結果を記録することができる。それらの結果に対して「7:検査結果通番」が同一である全ての行を1つのレセリポジットリメッセージに変換する。変換にあたり、JISX0201-1976 の 8 単位符号、及び、JISX0208-1983 の附属書 1 にて規定されているシフト符号化表現 (Shift_JIS) から ISO IR 87 (JIS 漢字コード) に文字符号化方式を変更する必要があることに留意する。

表 3-2 使用するレセリポジットリメッセージ

No	連携用ファイル	対応するレセリポジットリメッセージ	
1	検査結果データ連携用ファイル	OUL^R22	検体検査結果メッセージ

表 3-3 に、レセリポジットリにおける各セグメント表の定義を記載した章番号を示す。

表 3-3 セグメント表の記載箇所

No	セグメント	OUL^R22
1	SS-MIX ヘッダー	3.2.1.2
2	MSH	3.2.1.3.1.
3	PID	3.2.1.3.2.
4	PV1	3.2.1.3.3.
5	SPM	3.2.1.3.4.
6	OBR	3.2.1.3.5.
7	ORC	3.2.1.3.6.
8	OBX	3.2.1.3.7.

3.2.1.2. SS-MIX ヘッダー

レセリポジトリメッセージを SS-MIX2 に準じた通信手順で送信する場合、各メッセージには、SS-MIX2 の仕様に準じ、SS-MIX ヘッダーを付与する。SS-MIX ヘッダーは、表 3-4 に示す項目を「, (カンマ)」区切りで構成したメッセージとし、SS-MIX ヘッダー終了識別は、「0x1E0D」とする。レセリポジトリに格納されるファイルは、HL7 メッセージの部分のみであることを留意すること。

表 3-4 SS-MIX ヘッダー項目

No	項目	設定値	備考
1	SS-MIX 識別	固定値「#RECEIPT」を設定する。	
2	バージョン	レセリポジトリのバージョンを表す。 本仕様においては固定値「1.00」を設定する。	
3	医療施設 ID	医療施設を一意に識別する ID 検査結果 CSV ファイル仕様の「施設コード」を設定する。	
4	患者 ID	検査結果 CSV ファイル仕様の「患者 ID (カルテ番号)」を設定する。	
5	診療日	表 3-5 から、検査結果 CSV ファイル仕様の「検体採取日時」の上位 8 桁の日付 (YYYYMMDD) を設定する。	
6	データ種別	表 3-5 から、レセリポジトリメッセージに対応するデータ種別を設定する。	
7	オーダ No	検査結果 CSV ファイル仕様の「検査依頼者オーダ ID」を設定する。	
8	処理区分	新規データを表す「INS」を設定する。	
9	診療科コード	検査結果 CSV ファイル仕様の「診療科コード」を設定する。 診療科コードがない場合は、「000」を設定する。	
10	トランザクション日時	検査結果 CSV ファイル仕様のファイル名の日時 (YYYYMMDDHHMMSSFFF) で表現されるメッセージの発生日時。	

表 3-5 データ種別

No	データ種別	名称	HL7 メッセージ型
1	OML-11	検体検査結果	OUL^R22^OUL_R22

3.2.1.3. 検体検査結果メッセージ (OUL^R22) の定義

検体検査結果メッセージの定義を示す。

表 3-6 に、検体検査結果メッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須／○任意／－使用不可]

表 3-6 検体検査結果メッセージ (OUL^R22) のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を識別する。	－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
[— PATIENT begin			
PID	患者識別	患者の識別情報（基本情報）についての情報を提供する。	◎	○
[PD1]	患者追加基本情報		－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
]	— PATIENT end			
[
PV1	来院情報		○	○
[PV2]	来院補足情報		－	－
]				
{	— SPECIMEN begin			
SPM	検体		◎	◎
[{ OBX }]	検査結果		－	－
[{			－	－
SAC	材料と採取容器の詳細		－	－
[INV]	材料と採取容器の詳細		－	－
}}	材料と採取容器の詳細		－	－
{	— ORDER begin			
OBR	検査要求		○	○
[ORC]	共通オーダ		◎	◎
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
[{				
TQ1	タイミング／数量		－	－
[{ TQ2 }]	タイミング／数量オーダ順序		－	－
}}				
[{	— RESULT begin			
OBX	検査結果	オーダ指示	○	○
[TCD]	検査コード詳細		－	－
[{ SID }]			－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
}}				

[{ CT1 }]	治験識別		—	—
}	— ORDER end			
}	— SPECIMEN end			
[DSC]	継続ポインタ		—	—

3.2.1.3.1. メッセージヘッダセグメント (MSH)

表 3-7 に、メッセージヘッダセグメントの定義を示す。

表 3-7 メッセージヘッダセグメント (MSH) 定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本仕様	SS-MIX2	説明
MSH-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「MSH」を設定する。
MSH-1	フィールド区切文字	1	ST	R			R	R	セグメント ID と最初の実フィールド間の区切り文字。残りのメッセージで区切り文字として使う文字を定義。
MSH-2	コード化文字	4	ST	R			R	R	標準のセパレータである「^&」を設定する。
MSH-3	送信アプリケーション	227	HD	0		0361	0	0	使用しない
MSH-4	送信施設	227	HD	0		0362	0	0	使用しない
MSH-5	受信アプリケーション	227	HD	0		0361	0	0	使用しない
MSH-6	受信施設	227	HD	0		0361	0	0	使用しない
MSH-7	メッセージ日時	26	TS	R			R	R	送信システムがメッセージを作成した日時。最大 10000 分の 1 秒まで指定可能。 「YYYYMMDDHHMMSS.[S[S[S[S]]]]」形式
MSH-8	セキュリティ	40	ST	0			N	N	使用しない。
MSH-9	メッセージ型	15	MSG	R			R	R	メッセージを識別するために用いるコード。 エラー! 参照元が見つかりません。に示す HL7 メッセージ型を設定する。 ・検体検査結果通知(OUL^R22^OUL_R22)
MSH-10	メッセージ制御 ID	20	ST	R			R	R	変換プログラムで付与する、メッセージを一意に識別する番号。
MSH-11	処理 ID	3	PT	R			R	R	メッセージを処理するかどうかを判断するために使用する。「P」(プロダクション・本系)を設定する。
MSH-12	バージョン ID	60	VID	R			R	R	受信システムはバージョン ID を識別しメッセージが確実に解釈できるようにする。「2.5」(HL7 V2.5)を設定する。
MSH-13	シーケンス番号	15	NM	0			N	N	使用しない。
MSH-14	継続ポインタ	180	ST	0			N	N	使用しない。
MSH-15	受諾肯定応答型	2	ID	0		0155	N	N	使用しない。
MSH-16	アプリケーション肯定応答型	2	ID	0		0155	N	N	使用しない。

MSH-17	国コード	3	ID	0		0399	N	N	使用しない。
MSH-18	文字セット	16	ID	0	Y	0211	R	R	メッセージ全体に使用する文字コードセット。 「ISO IR87」を設定する。
MSH-19	主要言語	250	CWE	0			N	N	使用しない。
MSH-20	代替文字セット操作法	20	ID	0		0356	0	0	文字セットを切替える為のエスケープシーケンス方式。 「ISO 2022-1994」を設定する。
MSH-21	メッセージプロファイル識別子	427	EI	0	Y		N	N	使用しない。

3.2.1.3.2. 患者識別情報セグメント (PID)

表 3-8 に、患者識別セグメントの定義を示す。本書で示す全てのメッセージで使用する。

表 3-8 患者識別セグメント (PID) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本仕様	SS-MIX2	説明
PID-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「PID」を設定する。
PID-1	セット ID-PID	4	SI	0			N	0	使用しない。
PID-2	患者 ID	20	CX	B			N	N	使用しない。
PID-3	患者 ID リスト	250	CX	R	Y		R	R	病院内で患者を一意に識別できる ID。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の患者 ID(カルテ番号)を設定する。
PID-4	代替患者 ID	20	CX	B	Y		N	N	使用しない。
PID-5	患者氏名	250	XPN	R	Y		R	R	患者の氏名。 1. 漢字氏名 「9:患者氏名 (漢字氏名)」を設定する。名前タイプコード(XPN. 7)は、HL7 表「0200-名前タイプ」に記載されている「L:法的な名前」を使用し、名前表記コード(XPN. 8)は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」を使用する。 漢字氏名に含まれる最初の半角スペースで文字列を区切り、姓(XPN. 1)、名(XPN. 2)にそれぞれ設定する。 半角カナが含まれている場合には、全角カナに変換する。 2. カナ氏名 「10:半角カナ氏名」にカナ氏名が設定されている場合、フィールドの2つ目の繰り返しとして、カナ氏名を設定する。名前表記コード(XPN. 8)は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「P:カナ表記」

									を使用する。 カナ氏名に含まれる最初の半角スペースで文字列を区切り、姓(XPN. 1)、名(XPN. 2)に設定する。 ex) 山田太郎~~~~L^I^ヤマダ タロウ~~~~L^P
PID-6	母親の旧姓	250	XP	0	Y		N	N	使用しない。
PID-7	生年月日年齢	26	TS	0			R	R	患者の生年月日。 「11:生年月日」を西暦に変換し設定する。「YYYYMMDD」形式。
PID-8	性別	1	IS	0		0001	R	R	患者の性別。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の性別の「1」を「M」(男性)に、「2」を「F」(女性)に、「3」は「0」(その他)設定する。
PID-9	患者別名	250	XP	B	Y		N	N	使用しない。
PID-10	人種	250	CWE	0	Y	0005	N	N	使用しない。
PID-11	患者住所	250	XAD	0	Y		0	0	使用しない。
PID-12	郡コード	4	IS	B		0289	N	N	使用しない。
PID-13	電話番号—自宅	250	XTN	0	Y		N	0	使用しない。
PID-14	電話番号—勤務先	250	XTN	0	Y		N	0	使用しない。
PID-15	使用言語	250	CWE	0		0296	N	N	使用しない。
PID-16	婚姻状況	250	CWE	0		0002	N	N	使用しない。
PID-17	宗教	250	CWE	0		0006	N	N	使用しない。
PID-18	患者会計番号	250	CX	0			N	N	使用しない。
PID-19	社会保険番号	16	ST	B			N	N	使用しない。
PID-20	運転免許証番号	25	DLN	B			N	N	使用しない。
PID-21	母親の識別情報	250	CX	0	Y		N	N	使用しない。
PID-22	民族	250	CWE	0	Y	0189	N	N	使用しない。
PID-23	出生地	250	ST	0			N	N	使用しない。
PID-24	多胎児識別情報	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
PID-25	誕生順序	2	NM	0			N	N	使用しない。
PID-26	市民権	250	CWE	0	Y	0171	N	N	使用しない。
PID-27	退役軍人状況	250	CWE	0		0172	N	N	使用しない。

PID-28	国籍	250	CWE	B		0212	N	N	使用しない。
PID-29	患者死亡日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
PID-30	患者死亡識別情報	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
PID-31	身元不明識別	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
PID-32	識別情報の信頼性	20	IS	0	Y	0445	N	N	使用しない。
PID-33	最終更新日時	26	TS	0			N	C	使用しない。
PID-34	最終更新施設	241	HD	0			N	N	使用しない。
PID-35	種コード	250	CWE	C		0446	N	N	使用しない。
PID-36	品種コード	250	CWE	C		0447	N	N	使用しない。
PID-37	血統情報	80	ST	0			N	N	使用しない。
PID-38	生産分類コード	250	CWE	0	2	0429	N	N	使用しない。
PID-39	所属種族	250	CWE	0	Y	0171	N	N	使用しない。

3.2.1.3.3. 来院情報セグメント (PV1)

表 3-9 に、来院情報セグメントの定義を示す。

表 3-9 来院情報セグメント (PV1) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本仕様	SS-MIX2	説明
PV1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「PV1」 を設定する。
PV1-1	セット ID-PV1	4	SI	0			N	0	使用しない。
PV1-2	患者区分	1	IS	R		0004	R	R	患者の分類を示す。 <ul style="list-style-type: none"> ・検査結果 CSV ファイル仕様の入外区分「1」を「I:入院患者」に設定する。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の入外区分「2」を「0:外来患者」に設定する。
PV1-3	患者所在場所	80	PL	0			N	0	使用しない。

PV1-4	入院区分	2	IS	0		0007	N	N	使用しない。
PV1-5	事前入院番号	250	CX	0			N	N	使用しない。
PV1-6	患者の以前の所在	80	PL	0			N	0	使用しない。
PV1-7	主治医	250	XCN	0	Y	0010	N	0	使用しない。
PV1-8	紹介医	250	XCN	0	Y	0010	N	N	使用しない。
PV1-9	コンサルタント医師	250	XCN	B	Y	0010	N	N	使用しない。
PV1-10	診療部門	3	IS	0		0069	N	C	使用しない。
PV1-11	一時的な所在場所	80	PL	0			N	N	使用しない。
PV1-12	入院前検査標識	2	IS	0		0087	N	N	使用しない。
PV1-13	再入院標識	2	IS	0		0092	N	N	使用しない。
PV1-14	紹介元	6	IS	0		0023	N	N	使用しない。
PV1-15	外来状況	2	IS	0	Y	0009	N	N	使用しない。
PV1-16	VIP 標識	2	IS	0		0099	N	N	使用しない。
PV1-17	入院時医師	250	XCN	0	Y	0010	N	0	使用しない。
PV1-18	患者種別	2	IS	0		0018	N	N	使用しない。
PV1-19	来院番号	250	CX	0			N	N	使用しない。
PV1-20	保険種別	50	FC	0	Y	0064	N	N	使用しない。
PV1-21	費用識別標識	2	IS	0		0032	N	N	使用しない。
PV1-22	優待コード	2	IS	0		0045	N	N	使用しない。
PV1-23	信用等級	2	IS	0		0046	N	N	使用しない。
PV1-24	契約コード	2	IS	0	Y	0044	N	N	使用しない。
PV1-25	契約発効日	8	DT	0	Y		N	N	使用しない。
PV1-26	契約金額	12	NM	0	Y		N	N	使用しない。
PV1-27	契約期間	3	NM	0	Y		N	N	使用しない。
PV1-28	利息コード	2	IS	0		0073	N	N	使用しない。
PV1-29	不良負債転換コード	4	IS	0		0110	N	N	使用しない。
PV1-30	不良負債転換日	8	DT	0			N	N	使用しない。

PV1-31	不良負債代理店コード	10	IS	0		0021	N	N	使用しない。
PV1-32	不良負債転換額	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-33	不良負債回収額	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-34	会計情報削除標識	1	IS	0		0111	N	N	使用しない。
PV1-35	会計情報削除日	8	DT	0			N	N	使用しない。
PV1-36	退院区分	3	IS	0		0112	N	0	使用しない。
PV1-37	退院先	47	DLD	0		0113	N	N	使用しない。
PV1-38	食事種別	250	CWE	0		0114	N	N	使用しない。
PV1-39	担当施設	2	IS	0		0115	N	N	使用しない。
PV1-40	ベット状態	1	IS	B		0116	N	N	使用しない。
PV1-41	会計状態	2	IS	0		0117	N	N	使用しない。
PV1-42	保留所在場所	80	PL	0			N	N	使用しない。
PV1-43	事前の一時的所在	80	PL	0			N	N	使用しない。
PV1-44	入院日時	26	TS	0			N	0	使用しない。
PV1-45	退院日時	26	TS	0	Y		N	0	使用しない。
PV1-46	未納額	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-47	総費用	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-48	総調整額	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-49	合計支払額	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-50	代替来院 ID	250	CX	0		0203	N	N	使用しない。
PV1-51	来院標識	1	IS	0		0326	N	N	使用しない。
PV1-52	他のヘルスケア供給者	250	XCN	B	Y	0010	N	N	使用しない。

3.2.1.3.4. 検体セグメント (SPM)

表 3-10 に、検体セグメントの定義を示す。

表 3-10 検体セグメント (SPM) 定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本仕様	SS-MIX2	説明
SPM-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「SPM」を設定する。
SPM-1	セット ID - SPM	4	SI	0			RE	RE	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別するためのメッセージ内でのシーケンス番号。
SPM-2	検体 ID	80	EIP	0			N	RE	使用しない。
SPM-3	親検体 ID	80	EIP	0	Y		N	N	使用しない。
SPM-4	検体タイプ	250	CWE	R		0487	R	R	検査の材料の採取された実体の正確な性質について記述する。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の検体タイプを設定する。 「日本臨床病理学会臨床検査項目分類コード 材料コード表」を使用して表現し、コーディングシステム名には「JC10」を格納する。 施設内で使用するローカルコードを同時に格納する場合は、第 4 成分以降を使用可能。 ex) 023^血清^JC10^01^血清^99R01
SPM-5	検体タイプ修飾子	250	CWE	0	Y	0541	N	N	使用しない。
SPM-6	検体添加物	250	CWE	0	Y	0371	N	N	使用しない。
SPM-7	検体採取法	250	CWE	0		0488	N	N	使用しない。
SPM-8	検査材料・検査部位	250	CWE	0			N	RE	使用しない。
SPM-9	検査材料修飾子	250	CWE	0	Y	0542	N	N	使用しない。
SPM-10	検体採取部位	250	CWE	0		0543	N	N	使用しない。
SPM-11	検体役割	250	CWE	0	Y	0369	N	N	使用しない。
SPM-12	検体採取量	20	CQ	0			C	N	採取された検体の総量を示す。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の尿量(単位を含む)を設定する。 ex) 23.5^mL&mL&ISO+
SPM-13	検体総数	6	NM	C			N	N	使用しない。
SPM-14	検体記述	250	ST	0	Y		0	N	特別に検体情報を追加したい場合メッセージとして送信。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の検体コメントを設定する。
SPM-15	検体取り扱いコード	250	CWE	0	Y	0376	N	N	使用しない。
SPM-16	検体リスクコード	250	CWE	0	Y	0489	N	N	使用しない。
SPM-17	検体採取日時	26	DR	0			R	RE	検体を採取した日時。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の検体採取日時を設定する。 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
SPM-18	検体受領日時	26	TS	0			N	N	使用しない。

SPM-19	検体有効日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
SPM-20	検体有効性	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
SPM-21	検体拒否理由	250	CWE	0	Y	0490	N	N	使用しない。
SPM-22	検体品質	250	CWE	0		0491	N	N	使用しない。
SPM-23	検体適合性	250	CWE	0		0492	N	N	使用しない。
SPM-24	検体条件	250	CWE	0	Y	0493	N	N	使用しない。
SPM-25	検体量	20	CQ	0			N	N	使用しない。
SPM-26	検体容器数	4	NM	0			N	N	使用しない。
SPM-27	容器タイプ	250	CWE	0			N	N	使用しない。
SPM-28	容器状態	250	CWE	0		0544	N	N	使用しない。
SPM-29	子検体役割	250	CWE	0		0494	N	N	使用しない。

3.2.1.3.5. 検査要求セグメント (OBR)

表 3-11 に、検査要求セグメントの定義を示す。

表 3-11 検査要求セグメント (OBR) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本仕様	SS-MIX2	説明
OBR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「OBR」 を設定する。
OBR-1	ID 設定 - OBR	4	SI	0			N	C	使用しない。
OBR-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			R	R	ORC-2 依頼者オーダ番号に同じ。依頼側検体番号など。 ・ 検査結果 CSV ファイル仕様の検査依頼者オーダ ID を設定する。 15 桁、前ゼロ形式とする。
OBR-3	実施者オーダ番号	22	EI	C			N	0	使用しない。
OBR-4	検査項目 ID	250	CWE	R			R	R	要求された検査/試験/セットの識別子コード。 ・ 検査結果 CSV ファイル仕様の検査項目見出しを設定する。 コーディングシステム名には、「JAHIS 基本データセット適用ガイドライン V2.1 IOB 定義表 003-検査項目群」から「99003」を指定する。 <検査種>`<検査種名称>`99003 ex) E000`一般検査`99003

OBR-5	優先度	2	ID	X			N	N	使用しない。
OBR-6	要求日時	26	TS	X			N	N	使用しない。
OBR-7	検査/採取日時	26	TS	C			N	C	使用しない。
OBR-8	検査/採取終了日時	26	TS	O			N	O	使用しない。
OBR-9	採取量	20	CQ	O			N	N	使用しない。
OBR-10	採取者識別子	250	XCN	O	Y		N	N	使用しない。
OBR-11	検体処置コード	1	ID	O		0065	N	N	使用しない。
OBR-12	危険(検体)コード	250	CWE	O			N	O	使用しない。
OBR-13	関連臨床情報	300	ST	O			O	N	患者あるいは検体に関する検査診断および臨床所見の判定において、検査診断に影響を及ぼすその他の条件。 ・検査結果 CSV ファイル仕様のオーダーコメントを設定する。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の入外区分「3」の「健診」をテキストとして設定する。
OBR-14	検体受理日時	26	TS	B			N	N	使用しない。
OBR-15	検体材料/採取部位	300	SPS	B		0070	N	N	使用しない。
OBR-16	依頼者	250	XCN	O	Y		O	O	検査依頼医師。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の検査依頼医師氏名を設定する。 `<姓>`<名>`~~~~`<名前タイプ>`~~~~`<名前表記コード> 名前タイプは、「HL7 表 0200-名前タイプ」より「L:法的な名前」を使用し、名前表記コードは、「HL7 表 0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) `医師`太郎`~~~~`L`~~~~`I
OBR-17	オーダーコールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		N	N	使用しない。
OBR-18	依頼者項目 1	60	ST	O			N	N	使用しない。
OBR-19	依頼者項目 2	60	ST	O			N	N	使用しない。
OBR-20	実施者項目 1	60	ST	O			R	N	実施者(診断サービス)により任意の使用目的に定義可能。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の検査機関識別コード、検査機関名を設定する。 文字列型の項目であるため、下記ルールで値を設定する。 <検査機関名>(<検査機関識別コード>) ex) A臨床検査センター(977778888)
OBR-21	実施者項目 2	60	ST	O			N	N	使用しない。
OBR-22	結果報告/状態変更-日時	26	TS	C			N	O	使用しない。
OBR-23	課金	40	MOC	O			N	N	使用しない。
OBR-24	診断部門 ID	10	ID	O		0074	N	N	使用しない。

OBR-25	結果状態	1	ID	C		0123	N	N	使用しない。
OBR-26	親結果	400	PRL	0			N	N	使用しない。
OBR-27	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		N	N	使用しない。
OBR-28	結果配布先	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-29	親番号	200	EIP	0			N	N	使用しない。
OBR-30	患者搬送モード	20	ID	0		0124	N	N	使用しない。
OBR-31	検査理由	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-32	結果判定責任者	200	NDL	0			N	N	使用しない。
OBR-33	結果判定アシスタント	200	NDL	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-34	医療技術者	200	NDL	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-35	口述記録者	200	NDL	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-36	予定日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
OBR-37	検体容器数	4	NM	0			N	N	使用しない。
OBR-38	採取検体搬送	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-39	採取者コメント	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-40	搬送調整者	250	CWE	0			N	N	使用しない。
OBR-41	搬送調整結果	30	ID	0		0224	N	N	使用しない。
OBR-42	随行者要否	1	ID	0		0225	N	N	使用しない。
OBR-43	患者搬送コメント	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-44	処置コード	250	CWE	0		0088	N	N	使用しない。
OBR-45	処置コード修飾子	250	CWE	0	Y	0340	N	N	使用しない。
OBR-46	依頼者発行の追加サービス情報	250	CWE	0	Y	0411	N	N	使用しない。
OBR-47	実施者発行の追加サービス情報	250	CWE	0	Y	0411	N	N	使用しない。
OBR-48	医学的に必要な重複処置の理由	250	CWE	C		0476	N	N	使用しない。
OBR-49	結果の取り扱い	2	IS	0		0507	N	N	使用しない。

3.2.1.3.6. 共通オーダーセグメント (ORC)

エラー! 参照元が見つかりません。に、共通オーダーセグメントの定義を示す。

表 3-12 共通オーダーセグメント (ORC) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本仕様	SS-MIX2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダー制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。 結果メッセージとして「SC」を設定する。
ORC-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			R	R	依頼者アプリケーションのオーダー番号。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の検査依頼者オーダー ID を設定する。 15桁、前ゼロ形式とする。
ORC-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			N	O	使用しない。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	O			N	O	使用しない。
ORC-5	オーダー状態	2	ID	O		0038	N	RE	使用しない。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	O		0121	N	N	使用しない。
ORC-7	数量/タイミン	200	TQ	B	Y		N	N	使用しない。
ORC-8	親	200	EIP	O			N	N	使用しない。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	O			O	O	現在のオーダーが発生した日時。 ・検査結果 CSV ファイル仕様のファイルの命名規則で規定されたファイルの作成日時を設定する。 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
ORC-10	入力者	250	XCN	O	Y		N	O	使用しない。
ORC-11	検証者	250	XCN	O	Y		N	N	使用しない。
ORC-12	依頼者	250	XCN	O	Y		O	O	作成した要求に対して責任のある医師。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の検査依頼医師氏名を設定する。 `<姓>`<名>`~~~~`<名前タイプ>`~~~~`<名前表記コード> 名前タイプは、「HL7 表 0200-名前タイプ」より「L:法的な名前」を使用し、名前表記コードは、「HL7 表 0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) `医師`太郎`~~~~`L`~~~~`I
ORC-13	入力場所	80	PL	O			N	O	使用しない。
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		N	N	使用しない。
ORC-15	オーダー有効日時	26	TS	O			N	O	使用しない。

ORC-16	オーダー制御コードの理由	250	CWE	0			N	0	使用しない。
ORC-17	入力組織	250	CWE	0			0	0	入力者がオーダーを入力したときに属していた組織を示す。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の診療科コードを設定する。 「使用者定義表 0069-診療部門」から設定する。 <所属科コード>^<名称>^<コーディングシステム名>
ORC-18	入力装置	250	CWE	0			N	0	使用しない。
ORC-19	(オーダー制御) 実施者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	0		0339	N	N	使用しない。
ORC-21	オーダー施設名	250	XON	0	Y		R	0	オーダーを発行した病院名を示す。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の施設コード、施設名称を設定する。 <施設名称>^^^^^FI^^^<施設コード>
ORC-22	オーダー施設住所	250	XAD	0	Y		N	0	使用しない。
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	0	Y		N	0	使用しない。
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	0			N	N	使用しない。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	N	N	使用しない。
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	0		0177	N	N	使用しない。
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	0		0482	R	RE	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の入外区分を設定する。 「HL7 表 0482 -オーダータイプ」から設定する。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の入外区分「1」を「I:入院患者オーダー」に設定する。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の入外区分「2」を「0:外来患者オーダー」に設定する。 ex) 0^外来患者オーダー^HL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	0		0483	N	N	使用しない。

3.2.1.3.7. 検査結果セグメント (OBX)

表 3-13 に、検査要求セグメントの定義を示す。

表 3-13 検査結果セグメント (OBX) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本仕様	SS-MIX2	説明
OBX-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBX」を設定する。
OBX-1	セット ID - OBX	4	SI	0			0	0	セグメントの反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。 初期値 1、増分 1。上位 OBR に対する通番を設定する。
OBX-2	値型	2	ID	C		0125	C	C	検査値 (OBX-5) のデータタイプ。 「HL7 表 0125-値型」から設定する。 結果が値型なら「NM」、文字列なら「ST」をそれぞれ使用する。また、検査結果形態がある場合には「SN」を指定する。
OBX-3	検査項目	250	CWE	R			RE	R	検査項目を表す一意な識別子。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の身長、体重、尿量 (1A005)、検査項目独自コード、検査項目名称、JLAC10 コード、レセプト電算コード、結果コメント 1、結果コメント 2 を設定する。 ・レセプト電算コードは、OBX-5 でテキストにて表現する。 ・ローカルコードを格納する場合は、第 4 成分以降を使用可能。 <JLAC10 コード>^<表示名称>^<JC10>^<独自コード>^<独自コード名称>^<コーディングシステム名> ex) 2A050000001930101^PLT^JC10^172375^PLT^99R01 ※結果コメントの設定方法については下記の「1. 検査コメントの格納方法」を参照すること。 ※レセプト電算コードの設定については下記の「2. レセプト電算コードの格納方法」を参照すること。 ※JLAC10 以外で定義された 17 桁コードは、付録-1 別表 1 3「JLAC10 以外の臨床検査マスター-17 桁コード」を参照すること。
OBX-4	検査副 ID	20	ST	C			C	C	1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するために使用する。 検査結果コメント等を格納時にそれぞれの OBX セグメントを識別するために使用する。
OBX-5	結果値	65536	*	C	Y		C	C	検査結果を示す。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の検査値、結果値形態を設定する。 患者情報の身長、体重についても値を設定する。 結果値形態の設定方法は、「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.1 5.8 定性結果・不等号等の表現方法」を参照すること。

OBX-6	単位	250	CWE	0			0	0	検査結果の単位を示す。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の単位を設定する。 患者情報の身長、体重についても値の単位を設定する。
OBX-7	基準値範囲	60	ST	0			0	0	検査結果に対する基準値の範囲。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の基準値区分、基準値1(下限)、基準値2(上限)を下記のルールで設定する。 1) OBX-2 が NM または SN の場合 ①下限値と上限値の両方が定義された場合 下限値-上限値 ※基準値の範囲は「- (半角ハイフン)」を用いること。 ②上限値が存在しない場合 >下限値 ③下限値が存在しない場合 <上限値 2) OBX-2 が ST の場合 ①下限値と上限値の両方が定義された場合 下限値-上限値 ②上限値が存在しない場合 下限値 ③下限値が存在しない場合 上限値
OBX-8	異常フラグ	5	IS	0	Y/5	0078	0	0	結果の正常・異常を示す。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の異常フラグを設定する。 「使用者定義表 0078 -異常フラグ」から設定する。
OBX-9	確率	5	NM	0			N	N	使用しない。
OBX-10	異常検査の性質	2	ID	0	Y	0080	N	N	使用しない。
OBX-11	検査結果状態	1	ID	R		0085	R	R	1つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。 ・検査結果 CSV ファイル仕様の検査結果状態を設定する。 「HL7 表 0085-検査結果状態」から設定する。
OBX-12	基準値範囲有効日付	26	TS	0			N	N	使用しない。
OBX-13	使用者定義アクセス点検	20	ST	0			N	N	使用しない。
OBX-14	検査日時	26	TS	0			0	0	実際に検査された日時を示す。

									・検査結果 CSV ファイル仕様の検査実施日（受付日）を設定する。 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
OBX-15	実施者 ID	250	CWE	0			N	N	使用しない。
OBX-16	検査責任者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
OBX-17	検査方法	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBX-18	装置 ID	22	EI	0	Y		N	N	使用しない。
OBX-19	分析日付	26	TS	0			N	N	使用しない。

1. 検査結果コメントの格納方法

検査結果コメントについては、「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.1」に従い、検査項目 ID を接尾辞で修飾し、対象検査の検査項目に続く OBX セグメントで設定する。

接尾辞の使用方法は、「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.1 5.7 検査結果コメントの扱い」を参照すること。

【例】

OBX 1 NM 3A016000002327101^A/G^JC10 1 2.33 1.30-2.00 H F	検査結果
OBX 2 ST 3A016000002327101&TCM^JC10 1 再検済です。 F	コメント
OBX 3 ST 3A016000002327101&TCM^JC10 1 食後2時間 F	コメント
OBX 4 ST 3A016000002327101&TCM^JC10 1 妊娠39週目 F	コメント

2. レセプト電算コードの格納方法

レセプト電算コードについては、検査コメントの格納方法と同様に「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.1 5.7 検査結果コメントの扱い」に従い検査項目 ID を接尾辞で修飾し、対象検査の検査項目に続く OBX セグメントで設定する。接尾辞は ADT（追加情報メモ）を使用すること。

接尾辞の使用方法は、「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.1 5.7 検査結果コメントの扱い」を参照すること。レセプト電算コードは CWE 型とし、第3成分のコード体系には、付録-1 別表 14 の「コーディングシステム一覧」より診療行為コードを表す「99R01」を指定すること。

【例】

OBX 1 NM 3A016000002327101^A/G^JC10 1 2.33 1.30-2.00 H F	検査結果
OBX 2 CWE 3A016000002327101&ADT^JC10 1 160056230^99R01 F	レセプト電算コード

3.3. 格納処理

3.3.1. レセリポジトリの構造

レセリポジトリのルートフォルダ配下に、医療機関（検査センターを含む）ごとのフォルダを配置する。医療機関、薬局毎のフォルダ以下の構成は、図 3-1 に示すように、「SS-MIX2 標準化ストレージ構成の説明と構築ガイドライン 2.2 物理構造」に規定されたフォルダ構成に準拠する。

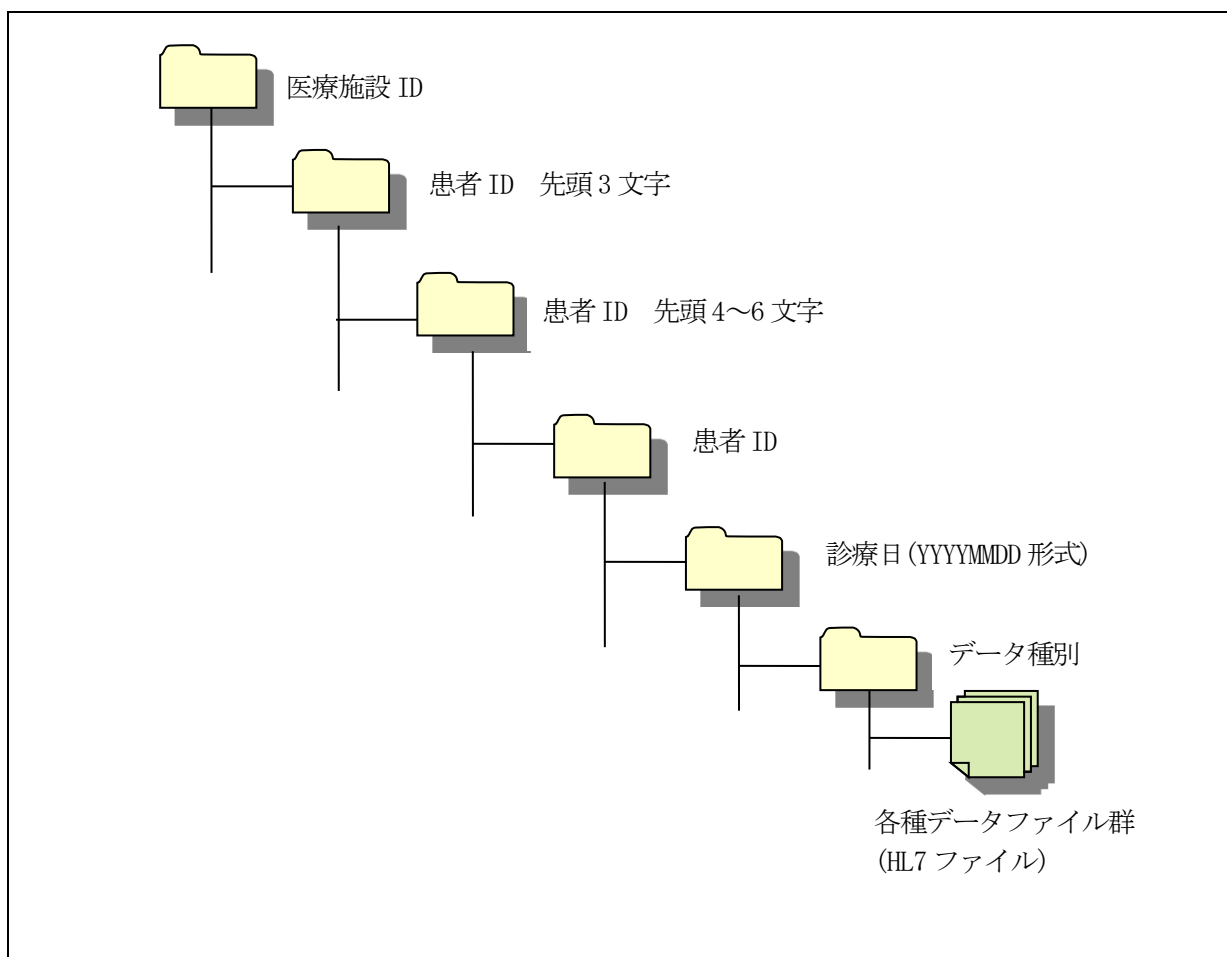


図 3-1 レセリポジトリの構造

表 3-14 レセリポジトリのフォルダ構造の構成要素

No	項目	内容
1	医療施設 ID	SS-MIX ヘッダーに記録された医療施設 ID。
2	患者 ID	SS-MIX ヘッダーに記録された患者 ID。SS-MIX2 標準化ストレージの格納ルールに準拠する。
3	診療日	SS-MIX ヘッダーに記録された診療日。SS-MIX2 標準化ストレージの格納ルールに準拠する。患者基本情報、病名は「- (ハイフン)」を用いる。
4	データ種別	処方、臨床検査等、データを区別するための識別文字。

3.3.2. ファイル命名規則

レセリポジトリに格納されるファイルのファイル命名規則は、「SS-MIX2 標準化ストレージ構成の説明と構築ガイドライン 4.1.2 各種データファイルの格納形態と命名規則」に準拠する。

3.3.3. 格納処理における留意点

レセリポジトリにメッセージを格納する際は、SS-MIX2 のファイル格納ルールと同じ仕様で、既に存在する有効ファイルのコンディションフラグを「0（無効）」に変更し、当該ファイルのコンディションフラグを「1（有効）」として格納する。

3.3.4. トランザクションストレージ記録仕様

トランザクションストレージを必須で記録すること。記録仕様は、「SS-MIX2 標準化ストレージ構成の説明と構築ガイドライン 3.1.4 データ構築の手続き」に準拠する。トランザクションストレージの格納場所は、各地域ドメインで決定すること。トランザクションストレージの更新をトリガとして、IHE ITI のトランザクションを使用したレジストリへの登録処理が実行される。詳細は実装ガイド本編参照のこと。

4. 参考文献

- JAHIS 標準類（一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会）
http://www.jahis.jp/jahis_hyojyun/seiteizumi_hyojyun/
- SS-MIX（SS-MIX 普及推進コンソーシアム）
<http://www.ss-mix.org/cons/>
- SS-MIX2 仕様書、関連資料（一般社団法人 日本医療情報学会）
<http://www.jami.jp/jamistd/ssmix2.html>
- 厚生労働省標準規格（医療情報標準化推進協議会）
<http://helics.umin.ac.jp/MhlwTsuuchi.html>
- 日本 IHE 協会
<http://www.ihe-j.org/>

付録—1. コード表

別表1 診療科コード

コード名	コード	内容
診療科コード	01	内科
	011	第1内科
	012	第2内科
	013	第3内科
	014	第4内科
	018	一般内科
	01A	被爆放射線医療内科
	02	精神科
	021	精神科・心の診療科
	022	精神科デイケア
	03	神経科
	04	神経内科
	04A	てんかん科
	04B	もの忘れ科
	04C	高次脳機能障害科
	04D	頭痛外来
	04E	脳卒中外来
	05	呼吸器科
	051	呼吸器・アレルギー科
	05A	せき外来
	05B	禁煙外来
	06	消化器科
	061	肝臓内科
	062	肝胆膵科
	063	膵臓内科
	064	胆道・膵臓内科
	06A	肝臓病科
	06B	脂肪肝外来
	07	胃腸科
	07A	炎症性腸疾患外来
	07B	ピロリ菌外来
	08	循環器科
	081	循環器内科
	082	冠動脈疾患治療部
	083	リンパ科
	09	小児科
	091	小児科周産母子
	092	新生児科
	093	小児循環器科
	094	小児神経科

095	未熟児センター
096	N I C U
097	G C U
09A	成長発達外来
10	外科
101	第1外科
102	第2外科
103	第3外科
105	一般外科
106	総合外科
107	病態外科
10A	被爆放射線医療外科
11	整形外科
111	整形外科・脊椎外科
112	脊椎外科
113	ロコモティブ外来
114	人工関節センター
115	装具外来
116	アスリート診療
117	スポーツ医学
119	関節外科
11A	手外科
12	形成外科
121	形成外科・美容外科
122	再建外科
13	美容外科
14	脳神経外科
141	脳腫瘍科
15	呼吸器外科
16	心臓血管外科
162	心臓外科
163	胸部外科
164	循環器外科
165	心臓・人工臓器外科
17	小児外科
171	小児外科（周産母子）
18	皮膚泌尿器科
19	皮膚科
191	皮膚科・レーザー科
192	紫外線外来
20	泌尿器科
201	泌尿器科・男性科
202	コンチネンス外来
21	性病科
22	肛門科

	221	ストマケア外来
	23	産婦人科
	230	産科婦人科
	231	女性外科
	24	産科
	241	助産師外来
	25	婦人科
	251	不妊内分泌科
	252	周産科
	253	周産期母性科
	254	婦人周産期科
	255	腹腔鏡外来
	25A	女性科
	25B	女性外来
	25C	女性診療科・産科
	26	眼科
	261	眼科・視覚矯正科
	262	白内障外来
	263	コンタクトレンズ外来
	264	ドライアイ外来
	265	ぶどう膜炎外来
	266	角膜・眼アレルギー外来
	267	網膜疾患外来
	26A	角膜移植部
	27	耳鼻咽喉科
	271	耳鼻咽喉科・神経耳科
	272	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
	273	困難気道外来
	274	頭頸部科
	28	気管食道科
	30	放射線科 (放射線診断科又は放射線治療科)
	301	放射線部
	302	放射線診断科
	303	放射線画像診断・IVR科
	304	核医学科
	30B	放射線治療科
	30C	X線科
	31	麻酔科
	311	麻酔・疼痛・緩和医療科
	312	麻酔科蘇生科
	313	麻酔・疼痛科
	31A	ペインクリニック科
	33	心療内科
	34	アレルギー科

	34A	環境医学外来（アレルギー科）
	34B	アレルギー内科
	34C	アレルギー・免疫内科
	34D	アレルギー・リウマチ内科
	35	リウマチ科
	35A	リウマチ内科
	35B	内分泌・リウマチ科
	36	リハビリテーション科
	361	言語療法科
	362	股体不自由リハビリテーション科
	363	内部障害リハビリテーション科
	364	理学療法科
	365	物理療法内科
	37	病理診断科
	38	臨床検査科
	39	救急科
	391	救命救急センター
	392	内科系救急科
	393	救急外科
	394	外科系救急科
	398	初期診療・救急科
	40	遺伝科
	41	血液内科
	41C	血液免疫科
	41D	血液科
	42	血液腫瘍内科
	421	無菌治療部
	43	血液透析科
	431	血液浄化療法部
	432	透析治療部
	44	健診科
	45	呼吸器内科
	46	在宅診療科
	47	腫瘍診療科
	471	腫瘍内科
	472	化学療法部
	473	小児腫瘍科
	474	精神腫瘍外来
	475	免疫療法外来
	476	脳腫瘍診療部
	48	腎臓内科
	48D	腎不全科
	48E	腎移植科
	49	睡眠診療部

	491	睡眠時無呼吸症候群外来
	50	精神神経科
	51	総合診療科
	51A	予診科
	51B	初診科
	51G	総合内科
	52	内視鏡診療部
	521	光学医療診療部
	53	内分泌・代謝科
	53A	内分泌・代謝内科
	54	膠原病科
	54A	膠原病内科
	54B	膠原病・アレルギー内科
	54C	膠原病・アレルギー・リウマチ内 科
	54D	免疫・膠原病・感染症科
	54E	膠原病・リウマチ内科
	54F	膠原病・感染症内科
	54G	免疫・膠原病内科
	70	消化器内科
	70A	消化管内科
	71	内分泌内科
	72	代謝内科
	72A	骨粗鬆症外来
	73	糖尿病内科
	731	糖尿病科
	73B	糖尿病・代謝内科
	73C	糖尿病・内分泌内科
	73D	糖尿病・代謝・内分泌内科
	73F	肝臓・糖尿病・内分泌内科
	73G	糖尿病・栄養内科
	74	腎臓・内分泌内科
	74A	腎・高血圧・脳血管科
	74B	腎・高血圧・内分泌科
	74C	腎臓・内分泌代謝内科
	75	感染症科
	751	感染症内科
	752	総合感染症科
	753	感染症管理治療部
	754	感染制御部
	76	漢方科
	761	漢方内科
	762	和漢診療科
	77	老年科
	771	老年病内科

	772	老人科
	78	血管外科
	79	血管内治療科
	79A	脳血管内治療科
	7A	消化器外科
	7A1	消化管外科
	7B	上部消化管外科
	7B1	食道外科
	7B2	食道・胃腸外科
	7B3	胃・食道外科
	7B4	胃腸外科
	7B5	胃外科
	7C	下部消化管外科
	7C1	大腸外科
	7C2	大腸・肛門外科
	80	肝胆膵外科
	801	肝胆外科
	802	肝胆膵・移植外科
	81	移植外科
	811	移植・再建・内視鏡外科
	812	人工臓器移植外科
	813	移植診療部
	814	骨バンク
	82	乳腺外科
	821	乳腺内分泌外科
	822	乳腺・甲状腺外科
	823	乳腺・内分泌外科
	824	プレストセンター
	83	緩和ケア科
	831	緩和ケア相談
	832	緩和医療
	833	地域包括緩和ケア
	84	集中治療部
	85	遺伝子診療部
	851	ゲノム診療部
	86	顎口腔診療科
	861	顎口腔外科
	862	顎顔面再建科
	863	顎機能科
	864	顎検査科
	865	顎歯科
	866	顔面口腔外科
	867	顔面外科
	86A	口腔診療科
	86D	口腔総合診療科

	86E	口腔画像診断化
	86F	口腔機能回復科
	86G	口腔診断科
	86H	口腔言語科
	87	輸血診療部
	88	予防医学診療部
	882	保健診療部
	883	メディカルフィットネス
	89	予防接種科
	8A	先端医療開発診療
	8B	分子診療・細胞治療
	8C	特殊外来
	8D	手術部
	8D2	デイ・サージェリー
	8E	薬剤部
	8E1	薬剤情報部
	8E2	臨床薬理内科
	8G	栄養指導科
	8H	看護部
	8J	地域医療連携部
	8K	治験センター
	90	歯科
	901	歯科顎口腔外科
	902	歯科口腔外科
	903	矯正歯科
	904	歯周科
	905	歯内治療科
	906	小児歯科
	907	障害歯科
	908	クラウン補綴科
	909	特殊歯科
	90A	虫歯科
	90B	医学支援歯科
	90C	全身管理歯科
	90D	総合歯科
	90E	保存修復歯科
	90F	予防歯科
	90G	咬合修復科
	90H	審美歯科
	90J	義歯科
	90K	義歯補綴科
	90L	インプラント歯科
	90M	高齢歯科
	90N	小児咬合障害科
	90P	歯科麻酔科

	90R	歯科 X 線科
	90S	健康歯科
	90T	歯科予診
	98	医事・事務
	981	病歴部
	982	事務
	983	医療社会福祉部
	9Z	その他

別表2 性別コード

コード名	コード	内容
性別コード	1	男
	2	女
	3	不明・その他

別表3 同意患者識別コード

コード名	コード	内容
同意患者識別コード	Y	同意あり
	Y 以外 (空白含む)	同意なし

別表4 透析区分コード

コード名	コード	内容
透析区分コード	1	透析前
	2	透析後
	3	透析中

別表5 食事区分コード

コード名	コード	内容
食事区分コード	1	食事前
	2	食事後

別表6 入外区分コード

コード名	コード	内容
入外区分コード	1	入院
	2	外来
	3	健診

別表7 検体タイプコード

コード名	コード	内容
検体タイプコード		○尿・便
	001	尿(含むその他)
	002	自然排尿
	003	新鮮尿
	004	蓄尿
	005	時間尿
	006	早朝尿
	007	負荷後尿
	008	分杯尿
	009	カテーテル採取尿
	010	尿ろ紙
	011	膀胱穿刺
	012	動物尿
	015	便
		○血液
	017	血液(含むその他)
	018	全血
	019	全血(添加物入り)
	020	動脈血
	021	毛細管血
	022	血漿
	023	血清
	024	血球浮遊液
	025	赤血球
	026	リンパ球
	027	血小板
	028	白血球
	029	臍帯血
	030	溶血液
	031	除タンパク液
	032	血液抽出液
	033	血液ろ紙
	034	血液塗抹標本
	035	造血幹細胞
	036	動物血
	037	動物全血
	038	動物血漿
	039	動物血清
		○穿刺液
	040	穿刺液(含むその他)
	041	髄液
	042	胸水
	043	腹水

	044	関節液
	045	心嚢液
	046	骨髓液
	047	羊水
	048	腰椎
	049	骨髓塗抹標本
		○分泌液
	050	分泌液(含むその他)
	051	消化器系からの分泌液
	052	胃液
	053	十二指腸液
	054	胆汁
	055	膵液
	056	唾液
	057	乳頭分泌液
	058	子宮頸管粘液
	059	前立腺液
	060	精液
	061	喀痰
	062	乳汁
	063	鼻汁
	064	咽喉からの分泌液
	065	耳からの分泌液
	066	目からの分泌液
	067	膺からの分泌液
	068	皮膚からの分泌液(汗)
	069	気管からの分泌液
		○組織
	070	組織*(含むその他)
	071	生検組織*
	072	試験切除組織*
	073	手術切除組織*
	074	剖検切除組織*
	075	固定組織*
	076	固定細胞
		○その他
	077	毛髪
	078	爪
	079	うがい液
	080	菌株
	081	結石(含むその他)
	082	尿路系結石
	083	胆石
	084	細胞浮遊液
	085	擦過物

	086	膿(含むその他)
	087	開放性の膿
	088	非開放性の膿
	089	水泡内容物
	090	嘔吐物
	091	洗浄液
	092	血液以外の抽出液
	093	浸出液
	094	塗抹標本(血液, 骨髄以外)
	095	透析液
	096	かん流液
	097	培養液
	098	ペア材料
	099	その他の材料

別表8 検査項目見出しコード

コード名	コード	内容
検査項目見出しコード	E000	一般検査
	E001	血液学的検査
	E002	生化学的検査
	E003	内分泌学的検査
	E004	免疫学的検査
	E005	微生物学的検査
	E999	検体検査

別表9 検査結果状態コード

コード名	コード	内容
検査結果状態コード	C	修正
	D	削除
	F	最終結果
	I	結果保留
	N	未確認
	O	依頼詳細記述
	P	事前結果
	R	結果入力(未検証)
	S	部分結果
	X	結果は得られない
	U	結果状態最終変更
W	間違い訂正	

別表10 結果値形態コード

コード名	コード	内容
結果値形態コード	U	以上
	E	以下
	L	未満
	O	超過
	B	結果なし

別表11 基準値区分コード

コード名	コード	内容
基準値区分コード	-	範囲内
	E	以下
	L	未満
	U	以上

別表12 異常フラグ

コード名	コード	内容
異常フラグ	L	基準値下限以下
	H	基準値上限以上
	LL	パニック下限以下
	HH	パニック上限以上
	<	測定限界下限未満
	>	測定限界上限越
	N	正常（非数値結果に適用）
	A	異常（非数値結果に適用）
	AA	非常に異常
	U	大幅な上昇変化
	D	大幅な下降変化
	B	改善一方向が適用されない場合 使用
W	悪化一方向が適用されない場合 使用	

別表13 JLAC10以外の臨床検査マスター17桁コード

コード名	コード	内容
臨床検査マスター17桁コード	9N0010000000000001	身長
	9N0060000000000001	体重
	1A005000000100001	尿量

別表14 コーディングシステム一覧

コーディングシステム名	コード表	参照先	URL
99R01	レセプト電算処理システム基本マスター 医科診療行為マスター 診療行為コード	レセプト電算処理関連（厚生労働省保険局診療情報報酬提供サービス）	http://www.ssk.or.jp/rezept/iryokikan/iryokikan_02.html

付録—2. サンプル

<サンプルデータイメージ>

医療機関：	テスト医院 (0123456789)			
検査依頼医師：	医師 太郎			
診療科：	内科 (診療科コード 01)			
検査機関：	A検査臨床センター (9377778888)			
患者 ID：	123456			
患者氏名：	患者 太郎 (カヅヤ 知)			
入外区分：	外来			
性別：	男 (1)			
生年月日：	1975年5月21日			
検体採取日時：	2014年2月14日12時13分14秒			
検査依頼日時：	2014年2月14日16時23分45秒			
検査実施日時：	2014年2月15日09時14分15秒			
身長：	168.3cm			
体重：	62.5kg			
尿量：	23.5ml			
透析区分：	透析前			
検査結果：	【JLAC10コード (レ電コード)】	検査結果・単位	基準値】	
・尿蛋白定量	1A015000000127101 (160000410)	35.2 mg/d l	25 以下	
・中性脂肪	3F015000002327101 (160020910)	198 mg/d l	50 ~ 149	
・白血球数	2A990000001992052 (160008010)	6500 /μ l	3100 ~ 9400	
医療機関：	テスト医院 (0123456789)			
検査依頼医師：	医師 良子			
診療科：	産婦人科 (診療科コード 23)			
検査機関：	A検査臨床センター (9377778888)			
患者 ID：	222333			
患者氏名：	患者 花子 (カヅヤ ハコ)			
入外区分：	入院			
性別：	女 (2)			
生年月日：	1985年11月23日			
検体採取日時：	2014年2月14日11時13分14秒			
検査依頼日時：	2014年2月14日16時23分45秒			
検査実施日時：	2014年2月15日09時54分15秒			
身長：	158.3cm			
体重：	49.5kg			
尿量：	43.5ml			
妊娠週：	39週目			
検査結果：	【JLAC10コード (レ電コード)】	検査結果・単位	基準値】	
・潜血反応[尿]	1A100000000190111 (160000310)	(-) 単位なし	(-)	
・総蛋白	3A010000002327101 (160017410)	5.4 g/d l	6.5 ~ 8.3	
・クレアチニン	3C015000002327101 (160019210)	0.1 未満 mg/d l	0.3 ~ 1.1	
※クレアチニンは、検査結果形態 (L: 未満) が付加されているものとする				

<検査結果 CSV ファイルデータサンプル>

ファイル名 9377778888_0123456789_20140215162345.csv

```
"Ver1.00","45","20140318"  
"検査機関コード","検査機関名","施設コード","施設名称","診療科コード","検査依頼医師氏名","検査結果通番","患者 ID(カルテNo)","患者氏名:漢字","半角カナ氏名","生年月日","性別","同意患者識別","身長","体重","透析区分","食事区分コード","食事区分コメント","妊娠週数","依頼者オーダーID","入外区分","検査依頼日時","オーダーコメント","検体採取日時","検体タイプ","検体コメント","尿量","検査項目独自コード","検査項目名称","検査項目見出し","JLAC10コード","レセ電コード","検査実施日(受付日)","検査結果状態","検査値","結果値形態","単位","基準値区分","基準値1:下限","基準値2:上限","異常フラグ","結果コメントコード1","結果コメント1","結果コメントコード2","結果コメント2"  
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","01","医師 太郎","1","123456","患者 太郎","カヅヤ 知子","19750521","1","Y","168.3","62.5","","空腹時"  
","","","00000000000001","2","20140214162345","オーダーコメント1","20140214121314","001","溶血あり","23.5","112-0001","尿蛋白定量"  
","E000","1A01500000127101","160000410","20140215091415","F","35.2","","mg/dl"  
","E","","25","H","A02","溶血しておりました","",""  
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","01","医師 太郎","1","123456","患者 太郎","カヅヤ 知子","19750521","1","Y","168.3","62.5","","空腹時"  
","","","00000000000001","2","20140214162345","オーダーコメント1"  
","20140214121314","019","","","112-0202","白血球数"  
","E001","2A990000001992052","160008010","20140215091415","F","6500","","/μl"  
","-","3100","9400","","","",""  
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","01","医師 太郎","1","123456","患者 太郎","カヅヤ 知子","19750521","1","Y","168.3","62.5","","空腹時"  
","","","00000000000001","2","20140214162345","オーダーコメント1"  
","20140214121314","023","","","112-0101","中性脂肪"  
","E002","3F015000002327101","160020910","20140215091415","F","198","","mg/dl"  
","-","50","149","H","C06","薬剤の影響が考えられます","",""  
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","23","医師 良子","2","222333","患者 花子","カヅヤ ハコ","19851123","2","Y","158.3","49.5","39","食後2時間"  
","","","00000000000002","1","20140214162345","オーダーコメント2","20140214111314","001","乳びあり","43.5","112-0301","潜血反応"  
[尿]","E000","1A10000000190111","160000310","20140215095415","F","(-)","",""  
","","","(-)","","","",""  
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","23","医師 良子","2","222333","患者 花子","カヅヤ ハコ","19851123","2","Y","158.3","49.5","39","食後2時間"  
","","","00000000000002","1","20140214162345","オーダーコメント2"  
","20140214111314","023","","","112-0401","総蛋白"  
","E002","3A010000002327101","160017410","20140215095415","F","5.4","","g/dl"  
","-","6.5","8.3","L","C06","薬剤の影響が考えられます","",""  
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","23","医師 良子","2","222333","患者 花子","カヅヤ ハコ","19851123","2","Y","158.3","49.5","39","食後2時間"  
","","","00000000000002","1","20140214162345","オーダーコメント2"  
","20140214111314","023","","","112-0501","クレアチニン"  
","E002","3C015000002327101","160019210","20140215095415","F","0.1","L","mg/dl"  
","-","0.3","1.1","L","C06","薬剤の影響が考えられます","",""
```

<OUL^R22 (検体検査結果通知) : 平成 26 年 2 月 14 日 (患者太郎) >

MSH|^~*%&|||20140215172300|| OUL^R22^OUL_R22|0001|P|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID|0001||123456||患者^太郎^~~~~L^I^カンジャ^タロウ^~~~~L^P||19750521|M
PV1||0
SPM|1||001^尿(含むその他)^JC10|||23.5^mL&mL&ISO+|||20140214121314
OBR||00000000000001||E000^一般検査^99003|||オーダーコメント1||^医師^太郎
~~~~~L~~~~~I|||A臨床検査センター(937778888)  
ORC|SC|00000000000001|||20140215162345||^医師^太郎^~~~~~L~~~~~I|||01^内科^ HL70069|||  
テスト医院^~~~~~FI^^^0123456789|||0^外来患者オーダー^HL70482  
OBX|1|NM|1A01500000127101^尿蛋白定量^JC10^112-0001^尿蛋白定量^99P01|1|35.2|^mg/d l  
^99P02|<25|H||F||20140215091415  
OBX|2|CWE|1A01500000127101&ADT^^JC10|1|160000410^^99R01|||F  
OBX|3|NM|9N00100000000001^身長^JC10|1|168.3|cm^cm^ISO+|||F  
OBX|4|NM|9N00600000000001^体重^JC10|1|62.5|kg^kg^ISO+|||F  
SPM|2||019^全血(添加物入り)^JC10|||20140214121314  
OBR||00000000000001||E001^血液学的検査^99003|||オーダーコメント1||^医師^太郎  
~~~~~L~~~~~I|||A臨床検査センター(937778888)  
ORC|SC|00000000000001|||20140215162345||^医師^太郎^~~~~~L~~~~~I|||01^内科^ HL70069|||
テスト医院^~~~~~FI^^^0123456789|||0^外来患者オーダー^HL70482
OBX|1|NM|2A990000001992052^白血球数^JC10^112-0202^白血球数^99P01|1|6500|^/d l
^99P02|3100-9400| ||F||20140215091415
OBX|2|CWE|2A990000001992052&ADT^^JC10|1|160008010^^99R01|||F
SPM|3||023^血清^JC10|||乳びあり||20140214121314
OBR||00000000000001||E002^生化学的検査^99003|||オーダーコメント1||^医師^太郎
~~~~~L~~~~~I|||A臨床検査センター(937778888)  
ORC|SC|00000000000001|||20140215162345||^医師^太郎^~~~~~L~~~~~I|||01^内科^ HL70069|||  
テスト医院^~~~~~FI^^^0123456789|||0^外来患者オーダー^HL70482  
OBX|1|NM|3F015000002327101^中性脂肪^JC10^112-0101^中性脂肪^99P01||198|mg^/d l  
^99P02|50-149|H||F||20140215091415  
OBX|2|CWE|3F015000002327101&ADT^^JC10|1|160020910^^99R01|||F  
OBX|3|CWE|3F015000002327101&TCM^^JC10|1|C06^薬剤の影響が考えられます^99P03|||F  
OBX|3|CWE|3F015000002327101&TCM^^JC10|1|A03^乳びしておりました^99P03|||F

<OUL^R22 (検体検査結果通知) : 平成 26 年 2 月 14 日 (患者花子) >

MSH|^~\*%&|||20140215172300|| OUL^R22^OUL\_R22|0001|P|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-1994  
PID|0001||222333||患者^花子^~~~~L^I^カンジャ^ハナコ^~~~~L^P||19851123|F  
PV1||I  
SPM|1||001^尿(含むその他)^JC10|||43.5^mL&mL&ISO+|||20140214111314  
OBR||00000000000002||E000^一般検査^99003|||オーダーコメント2||^医師^良子  
~~~~~L~~~~~I|||A臨床検査センター(937778888)  
ORC|SC|00000000000002|||20140215162345||^医師^良子^~~~~~L~~~~~I|||23^産婦人科^
HL70069|||テスト医院^~~~~~FI^^^0123456789|||I^入院患者オーダー^HL70482
OBX|1|ST|1A10000000190111^潜血反応[尿]^JC10^112-0301^潜血反応[尿]^ 99P01|1|(-)||(-)|

|||F|||20140215095415
 OBX|2|CWE|1A10000000190111&ADT^JC10|1|160000310^99R01|||||F
 OBX|3|ST|1A10000000190111&TCM^JC10|1|食後2時間|||||F
 OBX|4|ST|1A10000000190111&TCM^JC10|1|妊娠39週目|||||F
 OBX|5|NM|1A10000000190111^身長^JC10|1|158.3|cm^cm^ISO+|||||F
 OBX|6|NM|1A10000000190111^体重^JC10|1|49.5|kg^kg^ISO+|||||F
 SPM|2|||019^全血(添加物入り)^JC10||||||| |||20140214111314
 OBR||00000000000002||E001^血液学的検査^99003|||||||オーダーコメント2|||^医師^良子
 ^^^^^L^^^^I|||A臨床検査センター(937778888)
 ORC|SC|00000000000002|||||20140215162345|||^医師^良子^^^^L^^^^I|||||23^産婦人科^
 HL70069|||テスト医院^^^^F1^^0123456789|||||||^入院患者オーダ^HL70482
 OBX|1|NM|3A010000002327101^総蛋白^JC10^112-0401^総蛋白^99P01|1|5.4|^g/d l
 ^99P02|6.5-8.3|L|||F|||20140215095415
 OBX|2|CWE|3A010000002327101&ADT^JC10|1|160017410^99R01|||||F
 OBX|3|ST|3C015000002327101&TCM^JC10|1|薬剤の影響が考えられます|||||F
 OBX|4|SN|3C015000002327101^クレアチニン^JC10^112-0501^クレアチニン^99P01|2|<0.1|^mg/d l
 ^99P02|0.3-1.1|L|||F|||20140215095415
 OBX|5|CWE|3C015000002327101&ADT^JC10|2|160019210^99R01|||||F
 OBX|6|ST|3C015000002327101&TCM^JC10|2|薬剤の影響が考えられます|||||F

付録—3. 作成者名簿

作成者（五十音順）

| | |
|-------|------------------|
| 浅野 昌和 | パナソニック ヘルスケア (株) |
| 西川 好信 | メディカルドメイン (株) |
| 増田 剛 | (株) ケーアイエス |
| 松村 一世 | パナソニック ヘルスケア (株) |

謝辞

本技術文書作成並びにレビューにご協力いただいた下記の方々に感謝いたします。

| | |
|-------|------------------------------|
| 川田 剛 | JAHIS 臨床検査システム専門委員会 委員長 |
| 千葉 信行 | JAHIS 臨床検査データ交換規約改定作業 WG リーダ |

(以上、五十音順)

| 改定履歴 | | |
|-----------|----------|----|
| 日付 | バージョン | 内容 |
| 2015/12/8 | Ver. 1.0 | 初版 |

(JAHIS技術文書 15-103)

2015年12月発行

JAHIS IHE-ITI を用いた医療情報連携基盤実装ガイド
レセコンポータル向け臨床検査データ編 Ver. 1.0

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号
(新橋2丁目MTビル5階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)